



2009-2010年度RIテーマ

国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	寺澤 一良	幹事	五十嵐 博章	雑誌会報委員長	佐久間 信一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2009年12月第4週号

第2249回



平成21年12月25日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- *ロータリーソング 『それでこそロータリー』
- *四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

*お客様紹介

本日のゲストスピーカー / 日本労働組合総連合会
千葉県連合会 会長 黒河 悟様

《乾杯!》 大野良亮会員



本年は皆様元気で過ごされ、来年は千葉南クラブの益々の発展を期して乾杯!

《会長挨拶及び報告》 寺澤 一良会長

今日は今年最終の例会となりました。

最初、この壇上に立ったときは、会話が思う様に出来ない状態で、こんなことで歴代の会長さんに並んだ職務の遂行が出来るかどうかを危ぶみましたが、皆さんに励まして頂き、年度の半分を経過致しました事を大変有難く感謝申し上げます。

後、半年になりましたが、残すイベントはI・Mと東仁川RC訪問で、その他は親睦委員会の花見例会等の楽しい例会ですから、気持ちの上では終わったような気が致しますが、現実はまだ半年御座いますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さて、この半年間を振り返ってみますと大変短かった様な気が致します。5年くらい前から、アメリカでは提唱されていたDLPからCLPにが、当地区でもガバナーの公式訪問ではCLPに始まってCLPで終わる積極的なCLP推進派だと言う話で、平島会長年度で始まった先送りが、今度は出来ないぞと言う感じで、野城パスト会長から提唱されて急遽、金親年度の5月の理事・役員会の時

にCLP導入準備委員会を作ることになりました。

その時、次期会長の私が委員長を引き受けると言う事になり、会長年度が二ヶ月早く来たような感じでスタート致しました。幸い平島年度から先送りしていて、もうこれ以上は先送り出来ないと言う理事の皆さんの総意が後押しをして頂きましたことと、子クラブの千葉緑ロータリークラブからガバナー補佐が出ていて、CLPでは少し先を走っていた事から、千葉緑RCの大木ガバナー補佐の肝入りで、CLPを早くから取り入れていた成田RCや成田空港南RCの会長他の方々による研修を受ける事が出来たりと、幸運に恵まれて8月にはクラブ細則の変更にもまで漕ぎ着けました。これも偏に皆様のご協力があったからに他なりません。大変有難う御座いました。

さて、本来のクラブ活動では、7月には千葉南RC主催で国際里山の集いを金親直前会長の里山の作業現場をお借りしてR財団、米山記念奨学会、国際ソロプチミスト千葉、心身障害者福祉施設、里山の仲間たち、等々沢山の皆さんにお集まり頂いて自然の大切さを学びました。8月は、CLPの権化と化していると脅かされていた現ガバナーの公式訪問でしたが、予め準備しておきましたCLP化を前面に押し出して、これもまた皆様のおかげで、難なくクリア出来たことは御存知の通りで御座います。

又、8月には次年度ガバナー補佐を当クラブから選出致しました。9月は会長、幹事、会長エレクト、副会長と第10回日韓親善会議に参加するために理事・役員会及びクラブ協議会を第2週に変更して頂きました。この第10回日韓親善会議は、今までにない両国のロータリアン1,400人も集まり、会場に収容しきれなくて、別室でテレビでの会議と言うように盛大に行われたと報じられていました。

又、9月には輝かしい100%ポールハリスフェローの皆さんに記念品の伝達が御座いました。10月には、ロータリーは楽しくなければと言う、私の方針に載って頂いた移動例会が実施され、造幣局、ホテルオークラ東京、国会議事堂、浜離宮恩賜庭園、隅田川水上バスで浅草へと楽しい1日でした。

又、10月には、次期副会長を指名する為の指名委員会が開催されました。10月23日には、ウイスコンシン州からのGSEメンバーを6人迎えての例会となりました事

は記憶に新しいと思います。その翌日は地区のロータリークラブの一大イベントである地区大会が10月24日、25日と二日間に亘り華々しく挙行され、当クラブからは26人出席して大々的に行なわれました。

11月には、指名委員会を経て次年度役員候補者の発表が御座いました。又、11月にはひかり学園に対して皆さんに広く御協力を頂き有難う御座いました。これはクラブフォーラムで各委員会から報告されるものと思います。

12月の第1例会では、予定通り年次総会を開催して次年度の理事が選挙により決定致しました。本年最大のイベントである忘年家族例会は、親睦委員会をはじめ皆さんのご協力により盛大に行われた事は未だ記憶に新しい事で、今日がクリスマスですが、今日まで続いているような錯覚を覚えるくらい盛大なイベントで関係者の皆様に変感謝申し上げる次第で御座います。

《記念品伝達》

メモリアルポール・ハリスフェロー 出井 清会員

《ニコニコボックス報告》

☆寺澤 一良会員・五十嵐 博章会員

連合千葉会長・黒河悟様、ようこそいらっしゃいました。卓話を宜しくお願い致します。

会員の皆様、本日は今年最後の例会です。一年を締め括り、良い年を迎えましょう。

☆金田 榮弘会員

黒河会長、本日は年の瀬のご多忙の中、卓話にお越し頂きまして誠に有難うございました。民主党政権の最大のスポンサーである連合のお考えを聞ける良い機会でありましたので何卒よろしくお願い致します。

☆水野 謙一会員・榊原 行夫会員

先週は、私共の励ます会を開催していただき、有難うございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

☆植松 省自会員

皆様、上半期は親睦委員会へのご協力、有難うございました。来年も宜しくお願い申し上げます。

本日のニコニコボックス	10,000 円	累計	420,314 円
金の箱	1,721 円	累計	15,889 円



第2250回例会

日時⇒ 平成22年1月8日(金)点鐘 12:30

演題⇒ 『会長挨拶』

卓話者⇒ 寺澤 一良会長

＜クラブフォーラム＞

第2251回例会

日時⇒ 平成22年1月15日(金)点鐘 12:30

演題⇒ 『褒め方と叱り方』

卓話者⇒ 話し方教室 主任講師 安田 英夫様



《出席報告 (会員数43名)》

今関		川口	欠	塩谷		花澤	
五十嵐		北原		末吉	欠	橋口	欠
伊藤		国友		鈴木・美		畠山	欠
植松		小塚	欠	瀬谷		原田	欠
太田		小林	欠	竹尾		本田	欠
大野		向後	欠	高橋		松尾	欠
小野		澤本		土屋		丸島	欠
川合		榊原		寺澤		水野	
金親		斎藤・昌	欠	出井		野城	
金田		佐久間	欠	中沢		吉田裕	
栢木		鮫島	欠	野本			
出席 29名 欠席 14名 ビシター 1名 修正出席率 100%							

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [ご利用下さい](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	1/19・26	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	1/19・26	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	—	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水	1/13・20・27	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	1/28	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	1/21・28	京成ホテルミラマレ

本日の卓話

演題・・・『連合千葉の政治・社会活動について』
卓話者・・・日本労働組合総連合会千葉県連合会
会長 黒河 悟様



このような席に声を掛けて頂き、また、皆様に連合の活動をご認識頂く機会を頂戴し、本当に嬉しく思っております。今日、お手元に冊子を配布してございますが、これを見ますと分かる通り、今から20年前の11月28日に連合は結成されました。今年、結成20周年ということでお世話になった方々400名ほどをお呼びして、記念レセプションを開催いたしました。今年、千葉は選挙ずくめでしたが、森田知事もお呼びいたしました。我々は選挙ではもちろんその時々に応じて、候補者を応援するというのですが、特に市長さん、県知事さんには当選した後は、今後4年間は市民、県民の代表として、言うべきことは言うし、協力すべき所はするという立場です。そういうことで、レセプションにもおいで頂いたということです。それから来年には新春の会には、市長さん、県知事さんを招いて、新春の抱負を語っていただくことになっています。

私ども連合は、千葉県の中で15万人ほど会員がおり

ます。全国で言いますと約700万人ということですし、さらに世界の労働組合統一組織のITUCは、1億6千万人が加盟しております。日本の労働人口というのは約6千万人ですから、その1割が連合に加盟しているわけで、ITCUの中では3番目に大きな組織で、それなりの大きな影響力を持っています。

そして、連合千葉というのは各県の47地方組織の一つということになります。その他に地域協議会がありまして、県内11の地域に分かれて色々な活動をしております。それから推薦している議員さんがおりまして、衆議院議員13名、参議院議員3名、県会議員21名、市町村会議員89名が集まって、連合千葉議員団会議を構成しております。これと地域協議会との両輪で活動しているという状況です。

中央の方は対政府とか国際関係などが主ですが、地方においての活動は、一つは組織拡大です。二つ目は、特に地方の中小企業については、1%から数%しか組合に入っていない状況でして、例えばフリーダイヤルで労働相談を受ける、組合作りのお手伝いするなどの支援活動です。三つ目は勤労者、生活者のための政策の実現です。そのために四つ目として政治活動をやっているわけです。そして、五つ目は社会に貢献する活動です。

連合というと民主党とすぐなるわけですが、実はそうではございません。連合は総評、同盟など4つのナショナルセンターが集まってできたわけですが、グローバル化を迎えて日本だけで考えていたのでは、労働問題も解決できないということで結成されたわけです。もう一つの理由は、企業の中だけで賃上げや福利厚生の実現を必要とする時代を迎えました。これらの問題は企業だけでは解決できない問題でして、労働組合が分かっていたのでは対応できないわけです。それから1989年というのはちょうどベルリンの壁が壊れた年でした。それまでの日本の労働運動というのはイデオロギーに左右されてきましたが、その結果、政党に系列化されて戦後ずっと来たわけです。イデオロギーを排除して、政策の実現を目指すために、労働組合を再編するということが出来上がったのが連合です。

ですから、連合では例えば生産性向上運動をやっていますが、労使協議をきちんとして、雇用を確保し、成果を挙げて公平な配分をする、こういう労働運動を中心に活動しています。それから労働者は優良な納税者でもあるわけですが、その使い道については発言権があるわけですし、そのいう意味でも政治に関わってきたということです。

日本の政治の不幸は、政権交代ができないということで、ずっと自民政権が続きました。そこで、政権交代ができる政治勢力を育てていく必要があったわけです。しかし、我々は自民政権の時でも、個別の政策の実現にも努力してきました。小泉政権の時には、雇用悪化に際し、政府がお金を出し労働者側が人を出して、千葉に5千万円の補助金を頂いて、雇用拡大に資する活動する組織を作って5年間運営しました。

でも個別なものではしょうがない。年金や国の累積赤

字の問題、こういうひずみを解消するには、どうしても政権交代が必要だということで、民主党を応援し、結果として今年民主党が政権をとりました。

自民政権の時、政労会談は年1回だったのですが、民主党政権については、連合会長と鳩山総理のトップ会談は年3回から4回やるということで合意し、12月2日に第一回目が行われ、来年度予算などについて要望を出しました。また、連合事務局長と平野官房長官とは、月に1回政策協議をやる、さらには、省庁間では随時大臣とやらせて頂くということになっています。ようやくこのような仕組みができつつありますので、我々が長年掲げてきた施策の実現に向けて要請する、こういう活動を強化していきたいと思っています。

県内に目を向けますと、最大の課題は雇用問題であります。正社員で雇用がある人は5人に1人しかありません。安定的雇用のためには産業をきちっとする必要がありますが、千葉県は特に沿岸部に今までの蓄積で財産とも言えるインフラがあります。これを県がうまく利用、活性化して産業拡大して欲しいということ、県にお願いしています。雇用のための産業対策ということを県や市に、働く者としてお願いしているわけです。

それから社会運動ですが、我々は地域の社会運動として環境と防災ということを重点に活動しています。エコキャップ運動を2年間やって、1千4百万個回収することができました。エコバック運動もそうです。1個350円で50円は県の環境基金になっていて、いままでに90万円の積み立てになっています。もう一つは防災です。過去に我々は阪神淡路大震災、中越沖地震などで人を派遣していますが、組合幹部が行くと現地で非常に喜ばれました。つまり、色々なボランティアの人たちを、組織化することに長けていてありがたいということでした。もし千葉で大災害が起こった時は、もちろん全国から連合の仲間が駆けつけてくるわけですが、そう言った人々をコーディネートすることができるようなチームを組織しています。訓練は年間6回しており、今年で5年目なのですが、今までに150人育成しています。目標は200人です。

今日は民主党との関係を、というお話でしたが、我々は政党ではありませんし、政党の下請けでもありません。我々の最大の価値観は公正・公平です。平等とは違います。そして、汗水たらして働くということが、最大の価値として認められる、そして年金制度も含めて安心できる社会を作るということで、政治に関わって今の民主党を応援していくということです。そういう意味では、決して我々は、どこかの政党の下請けではないということです。

それから民主主義ですから、政治が世の中を変えるのは間違いありません。政治に国民が責任を持つということで、毎年毎年投票率を上げていきたいとも思っています。その結果、責任ある社会ができると考えています。

誠に短時間で纏まらないお話をいたしました。最後になりますが千葉南ロータリーの益々のご発展を祈念いたしまして、私のお話を終わりとさせていただきます。本日はご清聴ありがとうございました。(文責 高橋 朗)